



○施肥基準

(1)施肥基準量 (10a当たり・kg)

施肥成分	総量	基肥	追肥				
			1	2	3	4	5
窒素	49	19	6	6	6	6	6
りん酸	54	24	6	6	6	6	6
加里	49	19	6	6	6	6	6

【施肥設計及び施肥上の注意事項】

- 1 施肥設計にあたっては、土壌診断に基づき適正な土壌改良を行い、施用量を決定する。
- 2 5年間植え替えしないことを前提に、十分除塩した完熟堆肥により土づくりを行う。
- 3 堆肥中の有効成分を測定し、それを施肥基準から差し引き肥料の施用量を決定する。
- 4 土壌pHは、6.5を目標に調整する。
- 5 多肥を好むが定植直後の耐肥性は強くないので、基肥は少な目にして追肥で補う。追肥は固形肥料を置き肥主体で施用する。定植時のECは0.2~0.5ms/cm程度とする。生育停滞や障害を出さないECの上限は耕土の上層では1.5ms/cm、下層で1.0ms/cmである。